夕刊 常磐毎日新聞
発行所 平市田町75 常磐毎日新聞社 電話1210番
印刷兼発行人 吉田雨
編集人

四倉方部合併協議会に提案見通し
十二月県会に

四倉町と大野、大浦二カ村の合併問題は、今までに再参にわたつて協議会を開催され、新町名の問題を除いては殆んど解決点に来ており時間の問題とみられているが、旦下全町村にわたつて部落毎に懇談会を開いて部落民の最後の声をまとめており、これらを持寄つて三十日午前十時から四倉町役場で第五回協議会を開催して結論を出すことになつた、

結論はこんどの協議会で得られる見通しが強く、十二月県会には正式合併案を提出する予定である、新町名については色々異論があり、四倉では「四倉町」大野では「大倉」大浦では全く新らしい町名を希望しているが結局言いなじんだ「四倉町」に落着く公算のようである。

地元負担を協議
総合開発期成同盟会

常磐地方総合開発期成同盟会では二十五日午前十時から石城地方事務所会議室に鮫川工業用水路開発関係市町村代表を集め、同水路開発工事施行に伴う起債の地元負担額について協議した。

同水路開発工費の長期起債は財政難から本年度は認められぬことになつたので一応二十年度は公募債によつて取りあえず着工すると言うことになつているが公募債の消化問題で県と地元で微妙な腹の探り合いとなり、過般県庁で開催された県と地元の合同協議会でも結論に達しなかつたものだが、事業促進の意味からも取りあえず地元で消化しうる最大限の数字を検討、県当局に地元側の誠意を示し早期着工を具申する。

地質同好会記念発表会

平市旧城跡の「平地学同好会」では、郷土の地学探求の士が集つて結成されてから四周年を迎えたので、これを記念して左記により「記念発表会」を催すことになり期待されている。

▽廿八日午前九時から平工高校で▽発表会の内容、「高倉山麓について」小松山元（平工教諭）「かんウラン鉱の鉱床について」柳沢一郎（磐高教諭）「常磐地区南部の炭田地質について」江口元起（東北大教授）「大野村高倉山周辺の地質調査」柳沢一郎、根本守、数馬秀英、今平勝巳、景口しろし、吉田民輔、大橋征、鈴木達吉、村山薫の諸氏。

磐城市の文化祭
いよいよ明日から開幕

磐城市の第一回産業文化祭は二十六日より三日間盛大に開催される▽品評会々場は一小校講堂で出品物は農、水産物、工芸品、其の他参考展示品などが飾られる、▽演芸会々場、（二十六日）午後一時から三小講堂午後五時から鹿島小校（二十七日）午後一時から泉小校午後五時から渡辺小校（二十八日）午後一時から永崎公民館、午後五時から小名浜公民館、この演芸の呼物は楽笑会一行十二名の出演による浪曲、民謡、珍劇、三ツの歌大会などで、当日の盛況が待たれている。

音楽研究会

第一支会中学校長会（菊多方部）では、二十九日午前九時から勿来中学校で音楽研究会を開催する。▽音楽研究授業（勿来校根本敏雄）▽音楽講習（講師、仙台日本楽器尊属納道正氏）▽音楽研究討議、▽音楽舞踊の発表（勿来中校生徒）

草野で産業文化祭
来月四・五の両日開催

平市草野支所では十二月四、五の両日草野小、中両校で産業文化祭を開催する。

第一会場は生産物展示、第二会場は演芸会場、第三会場は生活改善、盆栽生花、写真、図画、書道の各種展示会場、第四会場は珠算競技会などを行う。

常磐局増築
基礎工事を終る
完成急ぐ平電話中継所

常磐郵便局増築工事の入札は三十日午前十時同局会議室で仙台郵政局小畑建築計理長、常磐郵便局長らの立会で行つた結果、鈴木建設KK（近藤一利氏）に落札、直ちに工事に着手した、

同局の増設工事費は五百万円で内部の修理、模様替えなども含まれている、完成予定は来年三月中旬の予定、

日本電信電話公社では、平電話の回線増加に伴い、去る七月中旬から工費二千五百万円をもつて内郷市御厩町下宿地内に、二階建鉄筋コンクリートの新庁舎を建築中だつたが、このほど立派に鉄骨組立て基礎工事を完成してコンクリート工事を急いでいるが、

総坪三百五十七坪に及ぶ近代的建物で、明春三月完成を見越し旦下突貫工事を急いでいる。

磐城市消防記念発表会

磐城市消防本部では二十六日より十二月二日までの一週間全国一せいの火災予防運動週間と呼応し、ポスター立看板、自動車宣伝隊の巡回、映画館に於ての防火スライド上映、講演などを行う。

常磐市の大字別供出米

常磐市の今年度供出は二十二日の農業委員会で四千二百九石と決定したが、大字別は、（単位石）

◆藤原六二〇◆白鳥百五〇、五三◆西郷七二三、七八◆長孫二二七、七九◆岩岡四〇二、一◆馬玉二〇四、六一◆下船尾四一七、六四◆下湯長谷三一六、七七◆上湯長谷八四、八四◆関船二八九、八本一三、四四◆関船二八九、八三◆水ノ谷一三一、八一◆上矢田一九五、八九◆松久須根二二八、七八◆三沢二〇一、一五合計四二〇九。

給食感謝祭
廿六日植田小校で

植田町小学校では二十六日午前九時から学年対抗各種球技、陸上大会を催し、終つて給食感謝祭を行う。

町村長会議

石城地方町村会では、二十七日午前十時から定例町村長会を石城地方事務所会議室で開催する。

天気予報

（明日）北寄りの風曇り時々晴の天気でしょう。

（海上）多少風波が出ましょう。

ガソリンカーのダイヤ

十二月一日から運転されることに決つたガソリンカーの運転時刻が次の通り決定した、

▽平ー泉間三往復、平ー植田間一往復、平ー勿来間一往復、平ー久の浜（下り三本、上り二本）、平ー富岡間二往復、平ー小川郷間二往復時刻と列車名は次の通り

常磐線下り

▽（従来の四三九列車平ー富岡間を廃止）泉発（六、四二時）湯本（六、五一）綴（六、五八）平（七、一七）四倉（七、二五）久の浜（七、四五）植田（八一三着）

▽勿来（一一、二四）泉（一一、四五）植田（一一、三四）草野（一四、四三）平（八発）綴（一〇、四五）湯本（一〇、五一）泉（一一、〇〇）植田（一一、〇九着）

▽平（一六、〇二発）綴（一六、〇九）湯本（一六、一八）泉（一六、一六着）

磐越線上り

▽小川郷（六、三三発）赤井（六、四二）平（六、四九着）

▽小川郷（一五、三四発）赤井（一五、四三）平（一五、五〇着）

磐越線下り

▽平（五、五五発）赤井（六、三）小川郷（六、一一着）

▽平（一五、〇五発）赤井（一五、一三着）

▽富岡（八、四二発）ー久ノ浜（九、一三）四倉（九、二四）草野（九、三九）平（九、四七着）

常磐線上り

▽富岡（八、四二発）ー久ノ浜（九、一四着、一九、一四着）四倉（九、二六）草野（一九、二六）四倉（一九、三四）久ノ浜（一九、四一着）

▽平（一〇、一〇発）綴（一〇、一七）湯本（一〇、三四）植田（一〇、三三）勿来（一一五〇）

▽富岡（一三、三四発）ー久ノ浜（一四、二六）四倉（一四、三三着）

▽泉（一八、五一発）湯本（一八、五八）平（二〇、三六着二〇、三着）

漁港改修の継続陳情
四倉の委員出京

四倉町では漁港改修工事についてこのほど漁業委員会を開いた結果工事を中止せず継続してくれるよう陳情することになり、委員が二班に分れて廿五日県当局及び農林建設などの関係筋に陳情のため出発した。

一市民？にお答えします

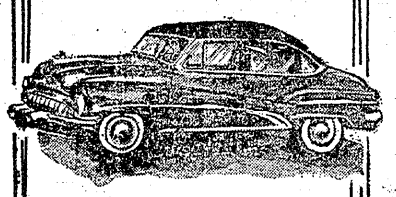
廿四日付お葉書読んで拝読致しました。創刊以来御愛読との由、社員一同衷心より厚く御礼申上げます。

就きましては御意面内容の「題字」の件でありますが、当社企画部に置きまして再参検討を加えました結果、新春元旦号を期して決行致すことになつておりますので、何卒それまで御容赦の上御愛読下さいますよう御願申上げると共に今後とも何かと御支援のほど御願申上げます。

常磐毎日新聞社企画部

広告マッチの……御用命はオ早めに……
専門の店 サトー広告社 平市田町 TEL1790 ◎御報参上◎

割烹 酔哲 仕おさめ 平市大町電637

貸切の御用命は 電話640番

尼子タクシー

味自慢
江戸前割烹 小料理
◇仕出し承ります◇
和洋食 特製支那そば
◇出前迅速◇
求料理見習 16才…20才位
奈加や
才組小路電395

募集
看護婦……▼面接時間……午後三時より病室
雑役婦……▼履歴書持参ノ事
募集人員各若干名 ▼面接時間…午後一時…病室
結核予防法指定医
呼吸器科 後藤内科
本院 平市古鍛冶町（県社下） TEL 1036
病室 平市月見町五八 TEL 2138

祖国印 地下足袋 運動靴 長靴 袋屋本店

常磐産業文化祭協賛
8保守運行御招待券大売出
売出期日・11月13日⇒11月30日　招待日・12月5日(日)
現金4ケット100円毎に補助券・1500円毎招待券進呈！
湯本専門店会

殺人未遂で裁けと
喰いさがる〝強かん男〟

強かん窃盗で裁かれる被告が、法廷に立つや、やにわに裁判長に対し「オレは女を殺す気があったのだから、〝強かん〟でなく〝殺人未遂〟の罪名で裁いてくれ」と喰いさがり、裁判長がなだめきかしても「オレは殺人未遂罪でなければ審問に答えない」と黙秘権を行使して、並いる裁判官はじめ検事、弁護人や傍聴人を驚かせた男がある。

強カン罪は不服
殺意はあったと珍供述

去る十四日夜郡町某女（二）を呉羽化成社宅工事場に連れ込みのどを絞めつけ皮下出血を負わせた上強かんした他二件の窃盗を働いた同町大字ぬか塚靴修理工石崎秀（三）にかかる強かん窃盗事件の第一回公判は二十四日午後一時半から地裁平支部に於て大竹裁判長係、中村検事、市井弁護人立会で開廷されたが。

被告石崎は中村検事の起訴状朗読前に冒頭から「自分は強かんの意志も殺意も十分持っていたこれに対して上申書も提出しているし自分がはつきり認めているのだから強かん窃盗の罪名は不服である」として殺人未遂の罪名を希望、裁判長に訴えると共に検事の起訴状朗読に対しても「意に従がわなければ女をも殺してしまおうと思っていた」と自分の殺意的犯行を主張した石崎は多少自暴自棄状態にあるものと思われ、大竹裁判長は同問題に対して「罪状認否のときにはつきり更めて供述したらどうだ、今お前がいくら認めて呉れと訴えても法律で出来ないのだから……」となだめる一幕などもあつて、人定尋問に入つたが「殺人未遂で裁判しない限り誰の質問にも応答出来ません」と自意を表示、裁判長以下約七十余名の傍聴人を驚かせた。

裁判長も持てあます

大竹裁判長もやゝもてあました形で「裁判長も殺人未遂として十分認められれば早刻その手続きをとることにする」と被告石崎の意をくめば市井弁護人も「君がいくら訴え希望しても検事は殺人未遂とは認めず非常に軽い強かん窃盗の罪名を適するものであるとしたのだから……」と口添えようやく証拠提出にまでこぎつけ大竹裁判長から次回公判は十二月一日午前九時からと言うことで同二時十分閉延した。

なお被告石崎が市井弁護人に渡された上申書には「起訴状の内容、罪名共に不満である、自分は女が許さなかつたときには殺してしまおうと思つつていたし凶器があつたら殺していた」と言うような主旨が書かれてあるといい、まことに結構な図柄である日の丸時間の所有者は私達であり、私達のものを私が盗む、親の財布から子供が金をぬきとるみたい。

私は時間泥棒をやめてから一年になる、盗まれるのが気付くようになつた、だが最近また公共の時間で自己の欲望を満した方が得だと、想い返して来た、先盟諸賢よ私を御鞭撻下さい

（平市SS生）

液化学の撲滅ンポ

ンポン液（A液）二種がありこれがポン液一滴に対しA液一滴、B液二滴を加えるとたちまち紫色に変色してしまう。これによつていかなるうそを言つてもヒロポンであることをかくすことは出来ないという大したシロモノであり、同署ではこれを大いに活用して撲滅これ努めますよ」と非常に張切つている。

体をたらすと直ちにポン液体であるかどうかがピタリと判り容疑者がゴマ化そうとしても暴露してまうという化学液であるこの液には四％炭酸ナトリウム（B液）と二％ニトロプリスト・ナトリウム

ンポンの徹底撲滅に乗り出している平署では、こんどポン患者の恐怖とも言うべき新兵器を導入した、これは特異の化学液体で、この液

義太夫納ざらい
二十七日磐城市で開く

代表政岡定儀の段」竹本喜楽、▽「半七三勝酒屋の段」竹本喜松△三味線竹本喜美太夫。

義太夫研究会本年の納ざらいは平市義太夫教室並に本社後援により来る二十七日午後五時から磐城市磐城座前「かねよし」で開催されるが、一流どころが顔を揃えるので盛会が予想される、語り物は▽「御祝儀楠弁慶」竹本喜美太夫、▽弁慶上使の段」竹本喜遷▽「札三、お静小磯ケ原の段」竹本千松▽「壺坂決市内の段」竹本なると、▽「忠兵衛梅川二の口村の段」竹本喜寿、▽「千

田人の土工殺し
懲役七年を言渡さる

去る八月二十六日の白昼田人村石住柿の沢第一発電所工事現場で行われた同僚殺し犯人土工横沢政行（三）にかかる殺人事件公判は二十四日午後一時から地裁平支部で大竹裁判長係、松沢検事、市井弁護人立合のもとに開かれ。

松沢検事から「出刃を投げつけられて二、三歩退いたのにもかゝわらず、出刃を拾つて襲いかゝり一突きのもとに即死させたのは正当防衛、過剰防衛のいづれからも適当ではない」と述べられたのち、大竹裁判長より懲役七年（求刑八年）の判決を言い渡された。

社民クで映画会

磐城市社民クラブでは二十七日午後一時と六時の二回、日本水素諸当で映画会を催す、漫画、コルホース物語、其の他数巻。

災害対策の本部を解散

郡下一体とした対策本部を結成、相次いで来襲した台風被害などの復旧対策に強力な運動を推進、河川改修、土地改良事業など郡下でおよそ四億に達する復旧事業の着手に功げんした石城災害対策本部では、二十七日午後一時半から平市公会堂日本間で委員会を開催、現在までの運動経過報告、復旧費の処置問題等対策運動の総決算を行い、本部活動に一応の終止符を打つことになつた。

火災予防週間
あすから12月2日まで

あす（二十六日）から十二月二日までは秋の全国火災予防週間です、この期間には全国一せいにラジオ放送や防火講演会、一日子供、婦人消防隊編成から消防訓練、かまどの検査など火災予防の多彩な行事が全国一せいに繰り展げられます、石城地方でもこれに準じていろいろの防止啓もう運動を実施することになつておりますが、石城地方の今年度の火災発生原因を拾つて見ると「子供の火遊び」「取灰の不始末」「かまどの不始末」「石油コンロ、マツチなどの使用方法不備によるものが最も多くなつており、天災地変は防ぐすべもないが、これらはいつもお互の注意次第で防止できることなので、火災防止にはポスターや、標語を作つたり、多彩な防止運動をお祭騒ぎに済すことなく、一人一人が先づ火の元に注意することが最も大事です、皆んなの市を町を村をそして家庭を皆んなで誇りましょう。平市内の主なる行事は次の通り

▼二十六日消防車で市内宣伝▼二十七、八日病院、学校、工場などの予防査察、ガソリン、油などの取扱店査察▼二十八日から四日間合併町村で防火座談会▼二十七日から二日まで消防機械点検▼週間中消防署と消防団で非常召集を行う（カネ一点、三点）▼小学校三年以上と中学校から防火ポスター募集。

泉の婦人会
日立視察

磐城市泉公民館運営審議委員会及び婦人会では二十五日、日立市公民館視察に出発した、これは泉公民館設置奨促進のため、全国一のモデル公民館として表彰を受けた、日立市公民館を見て、参考資料にするもの。

ふん尿処理
見学団出発

糞尿の衛生的処理施設の建設をめざす平市内飯野、神谷、平の三農協代表らは市役所農務課大竹保主任と共に二十六日糞尿処理施設の完備している高崎市の施設視察に出発する。

平市では一個百石入りの大貯溜槽（十三万円）を二十個造り、平鎌八、飯野、神谷各六個所に配置、川や市街地への不衛生的な排出を防止する計画を進めている。

バイクにはねられ負傷

本字表町新潟旅館前を通行中の向市関船字迎一〇会社員矢野正松さん（四五）は後方から来たバイクモーター（運転手玉井食堂湯本支店配達夫鉄木高広）に追突されて転倒し、右腕に全治一週間の擦過傷を負つた。

湯本のボヤ

二十四日午後三時四十分ごろ常磐市湯本字天王崎四〇無職藤田ツネさん（四三）方から出火したが、発見早かつた為、大事に至らず、屋根二坪を焼いた丈で約十五分後鎮火常磐署で原因調査に当つたが漏電による出火であることが判明した、損害約三万円。

平駅電信室の賊を手配

去る二十三日午後三時三十分ごろ平市田町平駅本屋階上電信室に侵入、同室から国鉄職員飯島秀四郎さん他一名所有のクローム製十型腕時計、手提皮カバンなど数点を窃取して逃走した犯人を捜査中の市署では二十四日、住居不定無職田中三夫こと高木三夫（三七）を窃盗容疑で全国に指名手配した。

鉛泥二人組

内郷署では二十五日内郷市御厩町久世原伊藤常雄方配管工吉田喜代松（二九）、同清水行夫（二九）の両名を窃盗容疑で書類送検した、

両名は共謀の上去る十二日午後八時ごろ内郷市綴沼尻地内福島労災病院病院建設現場朝日工業KK所有の鉛十貫匁六千八百円相当を盗んだもの。

ポン患検挙

平署では二十四日午後五時ごろ、ヒロポンの巣といわれる常磐市天王崎と内郷市浜井場地内を急襲したが、内郷では早くも察知してか警がくれ。

読者の声

住所氏名明記のこと、紙上匿名を認めます。

私達は盗まれている

煙草を吸いながら藁を打っている、面白そうに二、三人眺めていると、官人が休憩時間にこれを行つたら……これ正しく泥棒である、被害者は私達である。失対人夫が道具も持たずワイワイ騒いでいる、私達の常識から言えば、かせぎ時なのに……何だか私達は盗まれている様だ、日の丸時間で私時間の用を達す、盗む方も盗まれる方も日本人である限りこの傾向はあるようだ。

一寸サボツてアハハこれでお終い、まことに結構な図柄である日の丸時間の所有者は私達であり、私達のものを私が盗む、親の財布から子供が金をぬきとるみたい。

私は時間泥棒をやめてから一年になる、盗まれるのが気付くようになつた、だが最近また公共の時間で自己の欲望を満した方が得だと、想い返して来た、先盟諸賢よ私を御鞭撻下さい

（平市SS生）

純毛良布
スムス織毛メリヤス
平四
ツルヤ
電140
各種寸法豊富取揃

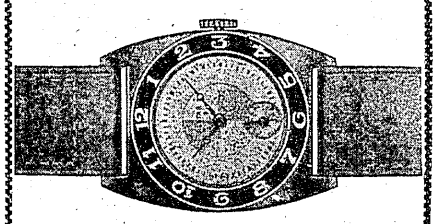
菓銘
平饅
松月堂
お車の御用命は
荷入2台
最新式大型
中型……6台
小型……5台
常磐交通タクシー部
電話1076

貸事務所…店舗
市内駅近く目貫通り
照会先電三七九番
売家
新家屋譲りたし
土地、水、電付急ぎに付相談に応ず
☆外に土地二百余坪貸たし
姓名在社

菓銘
六段最中
受賞
壹等賞
平市長賞
此度県下土産品コンクールに於て栄誉ある右の受賞に浴しましたことは日ごろ皆々様の御愛顧の賜と厚く御礼申上げます　何卒今後共旧に倍し一層御引立の程伏して御願い申上げます
六段本舗平凡
平駅前　電五〇九番

今週の映画
聚楽館　夜の部　七、〇〇　二日まで
聚楽カサノヴア　他各館　三十日まで
麗しのサブリナ
◎世界館　夜の部　六、一〇　三日月童子二部　継母荒城の月
◎ひかり座　夜の部　六、四五　カーニバルの女　殺人者はバツチをつけていた
◎民劇　夜の部　六、一〇　怪傑黒三部　南海の情炎
和閣ばやし
◎平館　夜の部　七、〇〇　地獄へのふくしゅう　潮騒

KSの石油コンロ
分解掃除芯サービス
燃焼筒　芯皿　取替　六〇〇円
各種部品在庫
新品と修理
電話下さい係員参上致します
KSコンロ製造元
鈴木機械有限会社
平市菅波町TEL一七二九

時計の御用命は

時計は……精工舎とスイス
万年筆は……K14金ペン付優秀品
◎平指定商チケツト御利用下さい◎
山崎時計店
平市五丁目　電991番

定指院
厚生病
医療病
竹林病院
平市十五丁目鉱八一一・六〇八
整形外科
外科
内科
レントゲン科
理学診療科
院長　竹林貞守
薬剤師　永津洋
医長　高橋
医師　山見道子
レントゲン技師　田林三恒
事務長　吉明